



全 仏

仏暦2539年3月
(1996年)

NO. 416



壇上に揃った新旧会長・副会長
(関連記事2～3面)

財団
法人 全日本仏教会

JAPAN BUDDHIST FEDERATION



京都グランドホテルで開催された理事会・評議員会

理事会・評議員会開催

新会長に高井隆秀

真言宗
智山派

管長

本会の理事会・評議員会が、去る一月三十日午後二時から、京都グランド・ホテルで開催された。会議では、任期満了に伴う会長・副会長の推戴、理事長をはじめとする役員を選出、さらに平成八年度の事業計画案や歳入・歳出予算案等が審議された。

評議員会

議長に若槻繁隆師、議事録署名人に、岡川秀映、和田大雅の両師を選んで、議事に入った。

議案第一号「任期満了に伴う理事及び監事選出の件」
慣例に則り、理事・監事の選考委員会を設け、別室で協議の結果、別記の理事及び監事を選出した。

議案第二号「任期満了に伴う会長及び副会長推戴の件」
若槻議長より上程。昨年十二月一日に開催された「第二十二期会長・副会長推戴委員会」の結果に基づき、別記の通り、会長・副

会長の推戴を議決した。

議案第三号「平成八年度事業計画(案)について意見を求める件」
若槻議長より上程。菅野総務部長が平成八年度事業計画案を朗読。原案賛成の意見が表明された。

議案第四号「平成八年度歳入歳出予算(案)について意見を求める件」
若槻議長より上程。鷲尾財務部長が、予算案の詳細を説明。質疑応答の後、原案賛成の意見が表明された。

理事会

杉谷義純師を仮議長に、議事録署名人に松村了昌、新居祐政の両師を選んで議事に入った。

議案第一号「任期満了に伴う理事長及び常務理事選出の件」
浄土宗の白幡憲佑師を理事長に選出。白幡理事長を議長に、別記の常務理事を選出した。

議案第二号「任期満了に伴う会長及び副会長推戴の件」
白幡議長より上程。昨年十二月一日に開催された「第二十二期会長・副会長推戴委員会」の結果に基づき、別記の通り、会長・副

会長の推戴を議決した。

議案第三号「平成八年度事業計画(案)に

ついて承認を求める件」

白幡議長より上程。菅野総務部長が平成八年度事業計画案を朗読。原案通り承認された。

議案第四号「平成八年度歳入歳出予算(案)について承認を求める件」

白幡議長より上程。鷺尾財務部長が、予算案の詳細を説明。質疑応答の後、原案通り承認された。

議案第五号「阪神・淡路大震災義援金支出の承認を求める件」

白幡議長より上程。鷺尾財務部長が説明、原案通り了承された。

報告事項

- ①「阪神・淡路大震災」救援活動について
- ②宗教法人法改正問題について
- ③ルンビニー園マヤ堂修復事業の現況について

④各種委員会委員の選任について

⑤事務総局各部報告

議案に関する審議が終了した後、右記の理事会・評議員会に共通する報告が、事務総局の各部長（第三号については、川井ルンビニー委員長）より行われた。

宗教法人法説明会

理事会・評議員会閉会后、午後四時半から

宗教法人法の改正について

説明する原克巳宗務課長補佐



「宗教法人法の一部を改正する法律に関する説明会」が、文化庁宗務課の原克巳課長補佐から行われた。

懇親会

午後六時から、同じ京都グランド・ホテルで恒例の新年懇親会が開催された。高井隆秀会長、中村康隆前会長、白幡憲佑理事長が次々に挨拶、つづいて来賓として出席した、自民党組織広報本部長・亀井静香氏から祝辞が述べられた。亀井氏は、特に「政教分離」の重要性に触れ、これを脅かそうとする勢力への警戒を呼びかけた。その後、新居祐政高野山真言宗宗務総長の発声で乾杯を行った。しばしの間、二百人を超える出席者による、和やかな懇談がつづいた。

花まつりポスター

本会ではご覧のポスターを頒布しております。明るい春の野に静かに立って、天と地を指すお釈迦さまのお姿は、見る人のところに安らぎを与えることと思います。地域仏教会、幼稚園・保育園などで広くご利用ください。

- ◎タテ75cm×ヨコ52cm ◎多色刷
- ◎1枚 100円（送料実費ご負担ください）
- ◎なるべく早目にお申し込みください。間際のお申し込みですと4月8日に間に合わないことがあります。

全日本仏教会 花まつりポスター係

* 4月8日はお釈迦さまのお誕生日

花まつり



第22期 全日本仏教会役員

副会長に、田中日淳日蓮宗管長
松山寛恵妙心寺派管長ら 6名

会長 高井 隆秀 (真言宗智山派管長)
副会長 田中 日淳 (日蓮宗管長)

松山 寛恵 (臨濟宗妙心寺派管長)
上田 良準 (西山浄土宗管長)

宮部 亮信 (東京都仏教連合会会長)
森田 禅朗 (大阪府仏教会会長)

田丸 徳善 (東京大学名誉教授)
白幡 憲佑 (浄土宗)

理事 長

常務理事 (評議員中の○印)

理事 (評議員中の○印)

監事 (評議員中の▽印)

評議員

◎大竹 明彦 (曹洞宗)

◎佐々木孝一 同

◎伊藤 襄爾 同

有田 恵宗 同

洞外 文隆 同

檀上 尚道 同

村松 了章 同

佐藤 良彦 同

◎松村 了昌 (浄土真宗本願寺派)

◎北條 成之 同

伊井 智昭 同

豊原 大成 同

桑原 範雄 同

松本 隆照 同

出口 湛龍 同

柱松 青巒 同

◎能邨 英士 (真宗大谷派)

◎海老原容光 同

那須 公順 同

調 紀 同

加藤 真 同

岡川 秀映 同

藤田 智賢 同

三浦 崇 同

◎成田 有恒 (浄土宗)

◎白幡 憲佑 同

◎川井 匡俊 同

八木 季生 同

近藤 正也 同

野呂 幸進 同

北山 宏明 同

野口 善雄 同

◎奥邨 正寛 (日蓮宗)

田中 学貞 同

渡邊 清明 同

小倉 光雄 同

星 光諭 同

齋藤 邦昭 同

◎新居 祐政 (高野山真言宗)

田岡 照遍 同

壽山 良知 同

服部 融宣 同

◎小倉 宗徳 (臨濟宗妙心寺派)

羽賀 文圭 同

大野 鍔宗 同

本多 道一 同

宮田 正勝 同

◎杉谷 義純 (天台宗)

▽山田 俊和 同

小川 晃勝 同

神田 秀順 同

◎上村 正剛 (真言宗智山派)

中村 義英 同

倉持 秀裕 同

清雲 俊元 同

◎川田 聖定 (真言宗豊山派)

小野塚幾澄 同

若槻 繁隆 同

浅井 侃雄 同

◎安藤 正晃 (孝道教団)

秋好 正隆 同

山口 正戒 同

◎吉田 英哲 (和宗)

健代 和央 同

加藤 公俊 同

◎五十嵐意承 (聖観音宗)

網野 義紘 同

法田 光順 同

◎長谷川霊信 (念法真教)

桶屋 良祐 同

仲田 順和 (真言宗醍醐派)

安藤 光淵 (真宗高田派)

川崎 観隨 (西山浄土宗)

日野 淳勝 (真宗興正派)

山本 智丈 (黄檗宗)

東條 仁哲 (真言宗大鳴派)

別所 法山 (天台真盛宗)

秋庭 稔 (時宗)

永井 宗誠 (臨濟宗建長寺派)

梨本 哲雄 (真宗仏光寺派)

五十嵐隆明 (浄土宗西山禅林寺派)

虎山 秀禅 (臨濟宗南禅寺派)

青木 謙整 (臨濟宗東福寺派)

ルンビニー園マヤ堂の発掘調査 カトマンズにて記者発表!!

本会とネパール王国のルンビニー開発基金(LDT)が進めているマヤ堂修復事業の考古学調査が昨年終了し、さる二月四日、同国カトマンズにおいて記者発表が行われた。

記者発表は、ヒマラヤホテルを会場に百名の内外報道関係者を集めて、同国のデウバ首相をはじめ、LDT関係僚や本会の川井匡俊ルンビニー委員会委員長が同席して行われ、本会派遣の考古学者・上坂悟氏と、LDT主任考古学者のリジャー氏、同国考古局のコンシュ氏の連名で、「発掘された各時代の礼拝施設が全く同位置に建設されていることが明らかに、マヤ堂の建っていた位置が最も神聖な聖地であることは間違いない」旨が発表された。この模様は同日ネパール国営テレビのトップニュースで放映され、六日には国王が現地を視察するなど、釈尊生誕地の確定に国中が沸きわたっているようである。本紙では次号以降にて詳細をお伝えする予定。



- 森田 昭光 (融通念仏宗)
- 高野 日豊 (本門佛立宗)
- 高吉 清順 (真言宗普通寺派)
- 山田 信正 (顕本法華宗)
- 大谷 博通 (新義真言宗)
- 小幡 蘭谷 (臨濟宗円覚寺派)
- 小林 慶存 (天台寺門宗)
- 窓岡 秀道 (真宗木辺派)
- 松本 実道 (真言律宗)
- 新藤 晋海 (華嚴宗)
- 川村 俊朝 (真言宗泉涌寺派)
- 安田 咲胤 (法相宗)
- 大野 玄妙 (聖徳宗)
- 小池 弘三 (真言宗須磨寺派)
- 国定 浄運 (真言三宝宗)
- 村主 康瑞 (真言宗中山寺派)
- 立森 成芳 (北海道仏教会連盟)
- 宿野 彰心 同
- 佐藤 堅瑞 (青森県仏教会)
- 轟 光順 (群馬県仏教会連合会)
- 高木 敏了 (栃木県仏教会)
- 鷲森 了元 (茨城県仏教会)
- 江連 俊則 (埼玉県仏教会)
- 河野 亮永 同
- 山田 勝義 (千葉県仏教会)
- 村松 正隆 同
- 白川 謙敬 (東京都仏教会連合会)
- 加藤 隆宣 同
- 清水 義道 同
- 横山 敏明 (神奈川県仏教会)
- 本間 孝康 同
- 和田 大雅 同
- 中村 啓識 (新潟県仏教会)
- 松山 成慶 (福井県仏教会)
- 海野 浄雄 (長野県仏教会)
- 加納 博司 (岐阜県仏教会)
- 藤 政昭 同
- 建部 龍憲 (静岡県仏教会)
- 涌出 宜雄 同
- 江川 辰三 (愛知県仏教会)
- 岩田 文有 同
- 牧 忍教 同
- 吉水 哲應 (滋賀県仏教会)
- 長澤 香静 (京都仏教会)
- 牧 達雄 (京都府仏教会連合会)
- 増田 貞圓 (大阪府仏教会)
- 井桁 雄弘 同
- 高見 寛康 (兵庫県仏教会)
- 市村 隆玄 同
- 垣内 浩龍 (和歌山県仏教会)
- 貫名 日諦 (岡山県仏教会)
- 三谷 恵仙 (鳥取県仏教会連合会)
- 綾澤 光朗 (香川県仏教会)
- 佐藤 令宜 (徳島県仏教会)
- 川井 甫孝 (愛媛県仏教会)
- 島田 定信 (高知県仏教会)
- 志鶴 秀邦 (福岡県仏教会連合会)
- 弘中 誠之 (宮崎県仏教会連合会)
- 島田喜久子 (全日本仏教婦人連盟)
- 水谷 栄寛 (全日本仏教青年会)
- 上村 映雄 (日本仏教保育協会)
- 逸見 道郎 (国際仏教興隆協会)
- 青木 新 (仏教振興財団)
- 佐藤 功岳 (東京フェイスクラブ)
- 沼田 智秀 (仏教伝道協会)

阪神・淡路大震災一周忌追悼



上・天台宗の法要に参列した遺族
中・BVおおさかの市民法要の仏教
聖歌隊 下・神戸仏教会館で行われ
た臨済合議所の合同法要



↑天台宗の追悼法要にて梅
山圓了座主と杉谷義純宗務
総長 ←BVおおさかの市
民法要 六千余のローソク
を灯して ↓臨済合同法要
で焼香する遺族



六千余名の尊い命を奪い、幾多の人々の生活を破壊した阪神・淡路大震災から一年を経た今年一月、被災地を始め全国各地でいろいろな行事が行われ、メディアは特集を組んだ。仏教界でも、大きくメディアに報じられるものは少なかったが、犠牲者の冥福を祈り、被災地の復興を応援する催しを、各宗派・諸団体がそれぞれに、あるいは超宗派で行った。そのいずれもが、生活に密着した寺院と門徒檀信徒の関係を軸に、一日も早い地域の立ち直りを目指す菩薩行であった。

しかし仏教界やお寺が、日ごろ仏教とご縁の薄い方々も含んだ、すべての人々の復興への力強いこころの支えとなり得るのか、その為は何かするのかわ問われているのも事実である。復興支援は一周忌で終わりではない、これからの一日一日の生活に溶けこんだ行いが求められている。震災の復興支援だけではなく、同時代に地球に生きる一員として、何ができるのか、何をすべきかを、一人一人の仏教者が心に刻んでいかねばならないことを教えられた一周忌であった。

一周忌追悼法要 (いずれも一月)

臨済宗黄檗宗合議所は、十五日午後二時から神戸仏教会館(中央区)で、小倉宗徳理事長(臨済宗妙心寺派宗務総長)を導師に合同

仏教諸団体が 各所で追悼行事



日蓮宗の行脚
隊と慰霊法要



阪神淡路大震災 物故者一周忌法要
浄土宗 浄土会館 兵庫区 西本願寺



↑ ↓ 浄土宗の追悼法要



全国曹洞宗青年会が出仕した菅原市場の法要 ↑
須磨寺で全真言宗青年会が行った送り火法要 ↓



↑ 西本願寺神戸別院
の追悼法要にて

法要を厳修。ついで松原泰道師が関東大震災の被災体験にもとづく講演を行った。

天台宗は、十六日午前十一時から兵庫大仏（兵庫区）で、梅山圓了天台座主の調声で大法要を厳修。杉谷義純宗務総長は支援活動の継続を誓った。

仏教ボランティアおおさかは、十六日午後六時半から太融寺（大阪市）で、仏教聖歌隊を中心とした追悼市民法要と、国連ボランティア名誉大使の中田武仁氏の講演を行った。

全日本仏教青年会と（社）神戸青年仏教徒会は神戸市仏教連合会、各宗派青年会・府県仏教青年会などの協力と、全日本仏教会ほかの後援を得て、十七日午前五時四十六分から神戸市内各所を七コースに分けて、全国仏教徒慰霊行脚・神戸結集を行った。僧侶・仏教系大学の学生・一般市民ら七百名が参加し、真光寺（兵庫区）に参集して、時宗の踊り念仏の後、十時半より法要を行った。

日蓮宗は、十七日午前中から身延山や青年会による被災地の唱題行脚を行い、午後一時半から市立中央体育館（中央区）で、奥邨正寛宗務総長を導師に慰霊法要を厳修。

全国曹洞宗青年会は、十七日午後一時半から菅原商店街（長田区）で、地区住民と曹洞宗国際ボランティア会により行われた御管地区犠牲者一周忌追悼式に出仕した。

↑夜明け前の神戸市内に結集し行脚する人々



全国から参集した僧侶が被災各地で読経、供養した



全日仏青の全国仏教徒慰霊行脚



真光寺で行われた追悼法要

全真言宗青年連盟は、十七日午後一時半からひよどり墓園（兵庫区）で慰霊法要を行い、午後五時から須磨寺（須磨区）で送り火法要とぜんざいの炊き出しを行った。

解放と連帯の真宗は、十七日に正蓮寺（兵庫区）で法要を営んだ。

浄土宗は、十四～十七日にかけて青年会が知恩院から神戸まで念仏行脚し、十九日には神戸文化ホールで、中村康隆浄土門主を導師に一周忌法要を行った。

浄土真宗本願寺派は、二十日午後一時半から、神戸別院において総追悼法要を営んだ。

◎ ● ◎

このほか、各宗各本山等において一周忌の追悼法要や慰霊の行事が行われた。

事務局録事

一月一日

八日 局内会議

十一日 法律相談室

十六日 宗教法人法説明会出席

十八日 自民党大会出席

十九日 文化庁勉強会出席

二十二日 「日宗連」理事会

二十四日 局内会議

二十五日 埼玉県仏教会新年会出席

三十日 評議員会・理事会・新年懇親会

二月一日

六日 「日宗連」理事会

八日 同和推進担当者連絡会

法律相談室

十三日 局内会議

二十二日 法律相談室

二十六日 局内会議

哀悼

工藤道夫師

一月二十二日、六十八歳で死去

岩手県仏教会会長

田辺哲彦師（元全仏理事長）

一月二十七日、九十三歳で死去

元曹洞宗宗務総長

一九九六年三月一日発行

発行人 白幡憲佑

発行所 財団法人

全日本仏教会

〒一〇五 東京都港区芝公園四一七一四